



<学校教育目標>

たくましさ
ゆたかさ
かしこさ

<今年度の重点目標>
よりよい学びを創る子ども
の育成
~key word つながり

令和4年5月31日 第2号

富良野市立東小学校

TEL 22-4895

FAX 22-4997

「ウィズ コロナへの転換」

校長 小林 真弓

新型コロナウイルス感染状況から、ここ2年間は秋に延期していた運動会。今年は本来の6月開催に向けて、練習・準備が着々と進められています。

今私たちは、コロナの感染予防対策を十分に行う学校生活にも慣れ、現在の状況は「ウィズ コロナ」へと転換しつつあります。マスク着用についての考え方も、感染状況の変化とともに少しずつ見直されてきています。

5月25日付文科省及び厚生労働省リーフレット「マスク着用の考え方について」が示されました。それによると、「人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はない。」とあります。さらにマスク着用の必要がない場面が具体的な学校生活場面で示されています。以下、ご紹介します。

1 屋外では

- ・人との距離が確保できる場合は必要なし

(離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない遊び等)

- ・人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合は必要なし

(自然観察・写生活動等)

2 屋内では

- ・人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合は必要なし

(個人で行う読書や調べ学習)

3 学校生活では

- ・屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際は必要なし ※ただし・・・

(運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体ガイドラインの確認が必要)

(活動する以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じてマスク着用を含めた感染症対策を徹底する)

4 熱中症対策として

- ・夏場は、熱中症予防の観点からマスクが必要ない場面でははずすことを推奨する

- ・マスクを着用しない場合であっても、「手洗い」「密」の回避等の基本的な感染症対策をする

以上、リーフレットを見ると、時と場合に応じてマスク着用か、はずすかを使い分けることが大事だということがわかります。

登校時はマスクの着用の必要なしとありますが、マスクなしで友だちと接近しておしゃべりしながらの登校スタイルは、どうでしょうか。もし、その日が熱中症注意報が出ている場合は、マスクを外しての登下校が大事ですが、そのかわり、友だちと接近しおしゃべりするのは慎まなければなりません。子どもたちは、マスク着用ひとつとっても、様々な場面に応じ考えて行動することが求められているのです。ご家庭にご協力いただきたいのは、場面に応じてマスクを着用したり、はずしたりしなければならない学校生活に対応するため、ポケット付きの服を着せてほしいということです。また、これからの暑い季節は、マスク内が蒸れるなど、マスクの換えが必要になることもあります。どうか予備のマスクのご用意もよろしくお願ひします。

学校教育活動の充実に向けて、コロナ禍であっても今の自分たちができることをやる。そんな「ウィズ コロナ」への転換を共に図ってまいりましょう。

